

# 放射線科

## 【研修責任医師名】

山下修平

## 【一般目標】

放射線安全の基礎や各検査の特性・適応を理解し、基本的疾患の読影の技能を習得する。また、放射線に関連した治療手技の適応を理解する。これらを通して、放射線検査を適切にオーダーし、解釈できることを目標とする。

## 【行動目標】

知識

1. 放射線安全管理や被ばく防護を実践するために、放射線、放射性同位体の特性を理解する。
2. 各種放射線検査の特性、検査適応を理解する。
3. 主要臓器（脳、脊椎髄、胸腹部、四肢）の画像解剖、代表的疾患（血管障害、腫瘍、炎症、変性、外傷など）を理解する。
4. 造影剤の原理、使用の適応、副反応を理解する。
5. 放射性薬剤の集積機序、適応を理解する。
6. 血管造影・画像下治療（IVR）、放射線治療の適応を理解する。

技能

7. 上級医とともに適切な検査指示を行うことができる。
8. 上級医とともに造影剤副反応に対する初期治療ができる。
9. 上級医の指導のもと、CT、MRI、RIの画像を解釈し、報告書を作成できる。
10. 上級医とともに血管造影・IVRを施行できる。
11. 上級医の指導のもと、放射線治療計画を立案できる。

態度

12. 診療放射線技師と協力し、放射線機器を適切に運用できる。
13. 検査・治療を円滑に施行するために患者に適切に声かけ、説明を行うことができる。
14. 血管造影・IVR、放射線治療のチームの一員として適切に行動できる。

## 【学習方略】

1. 上級医より放射線基礎、放射線安全に関する講義を受ける。
2. 上級医の指導のもと、CT、MRI、RI検査の検査指示を行う。
3. 上級医の指導のもと、読影・報告書作成を行う。
4. 上級医とともに、血管造影・IVRに参加する。
5. 上級医とともに、放射線治療計画に参加する。
6. 代表的な知見、症例についてまとめ、適宜プレゼンテーションを行う。

## 【研修評価】

1. 研修への参加態度、他職種とのコミュニケーション、プレゼンテーションなどをもとに評価する。